



PTA会報

蒼天の翼

第19号

PTA 調査広報委員会

2008. 7. 1

題字 小野早百合



声高らかに 青春謳歌



ご挨拶

PTA会長 片岡 淳

新年度がスタートして、はや二ヶ月が過ぎました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。五月のPTA総会に於いて会長に再任されました片岡です。今年度も宜しくお願い致します。

さて学校では、恒例の新入生歓迎対面式、応援歌練習も無事終了して、現在(六月六日時点)は文武両道の「武」の集大成とも言える高総体の真最中です。会員の皆様も直接応援に駆け付けたり新聞の結果報道に一喜一憂していることでしょう。建前では「勝ち負けよりそれに至るまでの過程が大切だ」と理解していますが、いざその場になると勝ちにこだわる選手や監督、そして何とか勝たせたい親心も理解できます。高校時代の部活動が良い思い出、満足できる結果になることを祈るだけです。

それから、箏曲部と囲碁将棋部の全国大会への出場も決っています。目頃の練習の成果を遺憾なく発揮し全国に千厩高校の名前を轟かせることを願っています。

また、文武両道の「文」であります。個人的には大学に何人合格とか就職率一〇〇%とかに注目するのではなく(大変重要ではありますが)、社会人としての最低限の資質を形成する事が重要だと思えます。その資質とは第一には学力ですが、礼儀、躰け(本来は家庭で身に付けるもの)、協調力、順応力などです。いくら学力が高く受験テクニックが上手くて、難関大学に入学し、卒業しても社会に協調、順応できずにダメになる人も大勢います。我が千厩高校生には三年間を通じて他に秀でた社会人に成るべく「文」を磨いてもらいたいものです。

最後に、生徒達のために良い環境作りをPTA一丸となって推進したいと思えます。会員皆様のPTA活動への参加、参画をお願いして私の挨拶と致します。